
戦争反対！

エクスケ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦争反対！

【Nコード】

N4560I

【作者名】

エクスケ

【あらすじ】

戦争。

誰もが忌むべき存在だと思っているがなくなることはない。なぜか。そしてこれからの戦争の見かたとは。

（前書き）

物語ではありません。そして、完全に主観で書いていますので、不愉快な思いをすることがあり得ます。ご留意の上、お楽しみください。

戦争反対？　じゃあ人間を辞めるしかない。戦争は人間が人間であり続ける限り起きつづける。なぜなら人間は殺戮を本能としているからだ。どんなに仲がよく、相思相愛でも殺したいほど腹が立つことがあるだろう。人間やサル以外の動物はそんなこと思わない。同じ集団にいる自分以外は、もはや自分なのだ。人間はそこまで集団になりきれない。理性のないサルも若いオスのサルが群れの長を力でねじ伏せ、新たに群れの長になることが往々にしてある。人間はそのサルから進化したのだから殺戮本能が備わっていてもおかしくないだろう。理由はそれだけではないが、寝るのや食うのと同じレベルに殺戮がある。ただ、多くの人は「殺すのはいけないことだ」と幼い頃から刷り込まれているから、また、法律で禁止されているから殺さない。それだけである。誰しも幼い頃に公園のアリを踏み潰して遊んだことがあるだろう。それを親にダメだと言われ、そういうものかと納得して成長していったから、いや、成長してしまっただから、戦争は撲滅すべきなどという無理なことを言うようになるのだ。

「戦争は罪のない民間人を殺す」と教科書には書いているが、民間人に罪がない？　そんなことはない。多くの国は選挙によって国の長を決めている。自分が選んだ長が起こした戦争なら受け入れざるを得ない、戦争が罪だとしたら、戦争を起こすような長を選出した民間人もまた罪である。じゃあ参政権のない子供を殺すのはどうかというと、ちょっと悲しいが仕方ないことだ。普段養ってもらっている親の選択を受け入れるのが自衛力をもたない子の努めである。選挙に行かない者は論外。むしろ戦争がなくても死んでくれ。

「戦争は何も生まない」これもよく聞くだろう。なにも生まない？　そんなことはない。周りの国からしたら大きなビジネスチャンスだ。むしろ失うものより生むもののほうが多いだろう。

もう仕方ない、仕方ないのだ。戦争は起こる。ともなればもう割り切るしかない。先ほども述べたが、ビジネスチャンスを見出し、儲けようとしている国もある。その代表格が北朝鮮だろう。件のテポドンも日本を多少脅かしたといえ、アメリカのミサイルに比べれば石ころのようなものだ。しかし、そんなテポドンでも完成すれば飛ぶように売れるという。買うのは発展途上国だ。発展途上国は武器に餓えている。弱くても周りの発展途上国を凌駕できればそれでいいのだろう。そして、戦争は人口問題にも貢献している。世界人口が増え続ける中、戦争で多くの人が死ねばいい按排になりうる。戦争なんて人口調節の政策程度に理解すればいい。

結論として戦争は撲滅するものではなく、うまく付き合っていくものと言えるだろう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4560i/>

戦争反対！

2010年10月28日07時23分発行